

屋内配線体験や高所作業車へ乗車…

電気工事業界、興味持って



組合員（中央）の説明を熱心に聞く生徒

（43）は「業界は担い手不足が続いている。交流を通して高校生に興味を持ってもらい、いつか一緒に働けたらうれしい」と期待した。

交流会は17日に実施。電気工事業界の活性化につなげようと2017年から実施しており、新型コロナウイルスの影響による中止を挟み、3年ぶりの開催となった。

（島田実侑）

協同組合青年部

秋田工高生にPR

高校生に電気工事業への理に挑戦した。解を深めてもらうべく、秋田電気工事協同組合青年部は、秋田市保戸野の秋田工業高校で生徒に電気工事を体験してもらう交流会を開き、業界をPRした。

電気エネルギー科の2年生約30人が参加し、屋内の配線

体験も行った。安全ベルトを着けた生徒は、リフトに乗って約14メートルの高さまで上がり、高所作業の雰囲気を感じた。参加した藤谷依楓さん（17）は「高所作業車は風で揺れて怖かったが、どんな状況でもきちんと仕事をする電気工事士はすごいと思った」と話し、青年部の柏谷健一会長